

(株)大垣村田製作所

大垣市・製造

従業員数／男性100名 女性19名 計119名 ※令和6年11月現在

**エクセレント
POINT**

- ①家族見学会の開催など従業員のやりがい向上の施策の実施
- ②育児休業・介護休業などの法を上回る制度の充実
- ③出前授業を通した次世代教育支援活動の推進

すべての従業員がいきいきと働ける環境を



親子で力を合わせてオルゴール製作。将来大垣村田製作所で働きたいと言ってきて嬉しかったと話す。

(株)村田製作所のグループ会社である大垣村田製作所は、年齢・役職に関係なく気軽に話し合える社風を強みとしており、従業員のやりがいと成長の実感、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組んでいる。

取組みの1つとして、家族見学会を開催し、家族にどんな会社で働いているのか知ってもらう機会を設けた。グループ会社の部品を使ったオルゴール製作や村田製作所

が開発したロボット「ムラタセイサク君」のデモンストレーションを企画し、参加者からは「親子で楽しめる内容だった」「仕事を理解してもらえる機会になった」との声が寄せられた。

育児による短時間勤務は、2022年度から取得できる期限を延長し、子どもが小学校卒業まで取得可能とした。短時間勤務で働く事務課の伊東さんは「育児休業後も復帰するのが当たり前の環境で、辞めるという選択はなかった」と話す。他にも家族の看病や育児、地域貢献活動などを目的に取得できる「多目的特別有給休暇制度」が設けられるなど、多様な働き方の実現をサポートする環境も整っている。加えて、日本社会全体の高齢化が急速に進んでいる中、24年4月から定年を65歳とした。

また、近隣小学校へ環境・エネルギー問題・SDGsに関する「出前授業」を行い、次世代教育支援



「セイサク君はなぜ倒れないのか」から科学の面白さを学んでもらう出前授業を開催している。

活動を推進している。担当者の田所さんは、「環境や科学に関心をもってもらい一助になっていることは大変嬉しい」と話す。子どもたちだけでなく従業員のやりがい向上にもつながっており、「内容をアップグレードして今後も継続していきたい」と意気込む。

これからすべての従業員がいきいきと働くことができるよう職場環境の充実に邁進する。